

安全指導のポイント

●のぼり棒

のぼっているお友だちの下には行かない！

上の横の棒にはぶら下がらない！

いきおいよく降りない！

前のお友だちと間をあけよう！

上にはのぼらない！

順番をまもろう！

遊んでるお友だちの下には入らない！

遊んでるお友だちのそばに行かない！

いきおいよく飛び降りない！

●鉄棒

鉄棒の上には立たないし座らない！

遊んでるお友だちのそばには行かない！

揺れているブランコの前後に入り込まない！

●ブランコ

物を持ったままのぼらない！

●ジャングルジム

危ないものを持ってのぼらない！

一番上で立たない！

高いところから飛び降りない！

●うんてい

ブランコから飛び降りない！

遊具で遊ぶことは、子供達の身体能力を向上させ、社会性や主体性、創造性を育みます。

また、挑戦や冒険をすることにより、危険を予測し、回避できる能力を養うための場でもあります。

遊具を、より有効に活用するためには、重篤な傷害を予防するための適切なメンテナンス（ハード面）を行うことと、危ない遊び方を理解し、遊び方のルールづくり（ソフト面）の両面が必要です。

このパンフレットでは、過去の事故データから得られた科学的知見をもとに、特に、重篤な傷害を予防するためのルール（ソフト面）を記載しています。

遊具での遊びが、子供達にとって「安全」を学ぶ「教育の場」となるように、ルールづくりの参考にして下さい。

下からのぼらない！

●滑り台

おり口の近くでは遊ばない！

こわれている遊具があったらすぐに大人に知らせよう！

順番をまもろう！

ルールを守って楽しく遊び、遊びを通じて心身の能力を高める！

■遊具ごとの指導上の留意点

小さな子どもたちほど、周りの状況をよく把握せずに自分の遊びに夢中になるため、他の子どもや遊具との衝突、遊具からの落下など、不注意から事故が発生する場合も多いものです。そのため、固定遊具で遊ばせる上で、遊具の安全点検とともに、子どもたちの発達や遊び方に応じた遊具ごとの安全指導が重要となります。

点検・管理のポイント

□劣化しやすい部分

- ①出発部 [横棒の変形・摩耗]
- ②懸垂はしご部 [握り棒の摩耗・変形・破損]

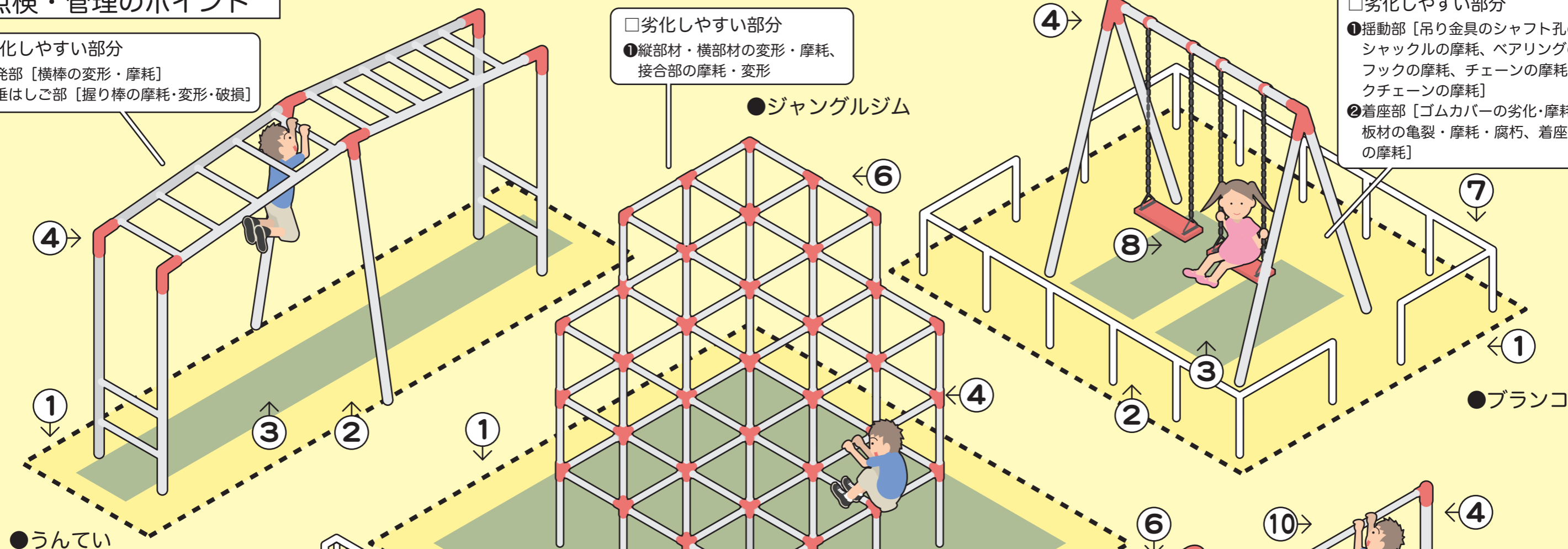
□劣化しやすい部分

- ①縦部材・横部材の変形・摩耗、接合部の摩耗・変形

□劣化しやすい部分

- ①揺動部 [吊り金具のシャフト孔の摩耗、シャックルの摩耗、ベアリングの摩耗、フックの摩耗、チェーンの摩耗、ロックチェーンの摩耗]
- ②着座部 [ゴムカバーの劣化・摩耗・破損、板材の亀裂・摩耗・腐朽、着座側金具の摩耗]

●ジャングルジム



□劣化しやすい部分

- ①握り棒部 [接合部ボルト穴の摩耗・亀裂、握り棒ボルト穴の摩耗]

□劣化しやすい部分

- ①はん登棒の変形・摩耗、横架材・梁材の摩耗、接合部の亀裂・破損

■点検 10 のポイント

- ①周囲に十分な空間があるか
- ②周囲に石やガラスはないか
- ③設置面は衝撃を吸収する素材か
- ④遊具にぐらつきはないか
- ⑤錆や腐食して開いた穴はないか
- ⑥マフラーが絡まる突起はないか
- ⑦安全柵が極端に近くないか
- ⑧吊り席の下に充分隙間はあるか
- ⑨非常時に大人が入れるか
- ⑩高さは適切か

□劣化しやすい部分

- ①登行部 [踏み台の摩耗、手摺の変形・破損]
- ②踊り場 [床板の摩耗、取付け金具の亀裂・破損]
- ③滑降面 [ステンレス板の亀裂・摩耗、プラスチック板の摩耗・波うち・亀裂、木板の摩耗・腐朽、パイプ張りの摩耗]
- ④滑降部 (ローラー滑り台) [ローラーの劣化・摩耗、ベアリングの摩耗、シャフトの摩耗]

